

平成26年度
病院経営調査報告

(平成26年5月状況調査)

平成26年12月

公益社団法人 全日本病院協会

医療保険・診療報酬委員会

平成26年度 病院経営調査 報告

1 調査目的

病院の経営収支の状況を把握することを目的とした。

2 調査客体

全日本病院協会会員病院を対象とし、平成26年5月時点の全会員2,423病院を客体とした。

3 調査内容

病院の一般状況及び収支状況について調査した。

4 調査期間

平成26年5月1日から5月31日までの間

5 調査方法

調査票を客体病院に送付し、自計記入後記名で返送された。

6 調査票の回収

回答病院数は930であり、回答率は38.4%であった。

調 査 結 果

1. 回答病院について

回答した930病院の内訳は次のとおりである。

表1 病院数、経営主体別

	病院数	構成比 (%)
総数	930	100.0
個人	15	1.6
医療法人	748	80.4
その他	167	18.0

表2 病院数、地域別

	病院数	構成比 (%)
総数	930	100.0
東京	91	9.8
政令指定都市	174	18.7
その他	665	71.5

表3 病院数、病床数別

病床数	病院数	構成比 (%)
総数	930	100.0
～49	57	6.1
50～99	236	25.4
100～199	345	37.1
200～499	253	27.2
500～	39	4.2

表4 病院数、DPC別

	病院数	構成比 (%)
総数	930	100.0
対象病院	271	29.1
準備病院	60	6.5
非対象病院	599	64.4

回答数は昨年より99病院増の930病院であり、回答率は38.4%（昨年度：34.1%）である。

回答病院のうち、DPC対象病院は271病院である。回答病院に占める割合は29.1%であり、昨年の27.8%と比較してもそれほど変わらない。

表5 病院数、病床数、病院種別

	病院数	病床数
総数	930	174,212
一般病床のみ	363	64,834
療養病床のみ	140	19,009
うち医療保険のみ	68	8,405
介護保険のみ	5	700
医療保険と介護保険併設	67	9,904
精神病床のみ	36	8,838
うち医療保険のみ	34	8,122
介護保険のみ	—	—
医療保険と介護保険併設	2	716
一般・療養病床併設	338	58,389
うち医療保険のみ	263	43,941
介護保険のみ	12	1,520
医療保険と介護保険併設	63	12,928
一般・精神病床併設	25	10,815
うち医療保険のみ	24	10,659
介護保険のみ	1	156
医療保険と介護保険併設	—	—
その他	28	12,327

注：結核病床を持つ病院は10で、結核病床数は249であった。また感染症病床を持つ病院は23で、感染症病床数は115であった。なお、表7には結核病床、感染症病床は一般病床に含めてある。

表6 病床数、病床種別

	総数	医療保険	介護保険
総数	174,212	163,707	10,141
一般病床	104,950	104,950	—
療養病床	48,895	39,236	9,659
精神病床	20,003	19,521	482
結核・感染症病床	364	364	—

全病床のうち医療保険は94.3%、介護保険は5.8%であった。
 病床種別病床数では、療養病床の20.0%が介護保険指定を受けている。

2. 病院の収支

表7 収支率、地域別

	医業収支率 (%)		総収支率 (%)	
	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年
総数	104.6	105.5	104.6	106.4
東京	101.3	101.6	101.0	103.5
指定都市	106.3	106.1	105.2	106.6
その他	104.7	106.1	105.1	106.9

総数で見ると、平成26年の医業収支率は、平成25年と比較して0.9%下がり、総収支率も1.8%下がっている。

なお、東京については、医業収支率で0.3%、総収支率で2.5%下がっている。

表8 病院数の%、医業収支率別

医業収支率	総数		東京		指定都市		その他	
	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年
総数	100	100	100	100	100	100	100	100
100%未満	25	23	40	31	20	22	25	22
100%以上	75	77	60	69	80	78	75	78

医業収支では、25%の病院が赤字であり、昨年(23%)より若干増えている。

地域別では、東京は40%の病院が赤字である。

表9 病院数の%、総収支率別

総収支率	総数		東京		指定都市		その他	
	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年
総数	100	100	100	100	100	100	100	100
100%未満	24	22	35	29	21	24	23	21
100%以上	76	78	65	71	79	76	77	79

表9は、医業収支以外の収支を加えた総収支についてみたもので、24%の病院が赤字である。

表10 病院数、医業収支率別、総収支率別

収支率 (%)	医業収支				総収支			
	平成26年		平成25年		平成26年		平成25年	
	病院数	構成比 (%)	病院数	構成比 (%)	病院数	構成比 (%)	病院数	構成比 (%)
総数	930	100.0	831	100.0	930	100.0	831	100.0
～84	20	2.2	23	2.8	19	2.0	20	2.4
85～89	33	3.5	18	2.2	31	3.3	17	2.0
90～94	61	6.6	53	6.4	67	7.2	50	6.0
95～99	120	12.9	96	11.6	105	11.3	98	11.8
100～104	186	20.0	158	19.0	200	21.5	150	18.1
105～109	180	19.4	161	19.4	165	17.7	169	20.3
110～114	127	13.7	124	14.9	136	14.6	115	13.8
115～	203	21.8	198	23.8	207	22.3	212	25.5

表10は、医業収支、総収支の収支率を5パーセントの幅をもって病院数の構成比をみたもので、医業収支でみると収支率115%以上の病院が203であり、21%強の構成比である。

表11 推計キャッシュフロー率、病院数別

キャッシュフロー (%)	平成26年		平成25年	
	病院数	構成比 (%)	病院数	構成比 (%)
総数	887	100.0	831	100.0
～-16	34	3.8	29	3.5
-15～-11	25	2.8	19	2.3
-10～-6	49	5.5	31	3.7
-5～-1	94	10.6	75	9.0
0～4	199	22.4	210	25.3
5～9	210	23.7	200	24.1
10～14	129	14.6	118	14.2
15～	147	16.6	149	17.9

表12 推計キャッシュフロー率、病院数の%、地域別

キャッシュフロー (%)	総数		東京		指定都市		その他	
	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0%未満	22.8	18.5	32.6	22.1	17.7	16.8	22.8	18.6
0%以上	77.2	81.5	67.4	77.9	82.3	83.2	77.2	81.4

今回は、推計キャッシュフロー率を下記の方法で計算した。

推計キャッシュフロー額＝総収支差額－（総収支差額×0.4）（注1）

＋減価償却額（注2）＋借入金収入額（注3）－借入金返済額（注4）

（注1）所得税推計額であり、総収支差額が赤字の場合は0とした。

（注2～4）平成25年度実績の1/12とした。

推計キャッシュフロー率＝キャッシュフロー額/総収入額

推計キャッシュフロー率は0%未満が総数で22.8%であった。

表 1 3 収支率、病院種別

	回答数		医業収支率		総収支率	
	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年
総数	930	831	104.6	105.5	104.6	106.4
一般病床のみ	363	315	103.1	104.9	102.8	106.1
療養病床のみ	140	117	112.8	113.0	113.0	113.3
うち医療保険のみ	68	50	115.5	119.1	115.5	118.6
介護保険のみ	5	7	112.5	108.4	114.6	114.4
医療保険と介護保険併設	67	60	109.5	108.2	109.9	109.0
精神病床のみ	36	34	111.5	111.7	112.1	113.0
うち医療保険のみ	34	33	110.8	111.8	111.2	113.1
介護保険のみ	—	—	—	—	—	—
医療保険と介護保険併設	2	1	119.4	106.2	122.1	107.4
一般・療養病床併設	338	310	105.8	105.8	105.9	106.6
うち医療保険のみ	263	239	105.4	105.6	105.6	106.4
介護保険のみ	12	11	112.0	112.2	112.3	112.5
医療保険と介護保険併設	63	60	107.1	105.8	106.8	106.8
一般・精神病床併設	25	24	101.1	101.5	102.0	101.7
うち医療保険のみ	24	24	101.1	101.5	101.9	101.7
介護保険のみ	1	—	98.3	—	103.3	—
医療保険と介護保険併設	—	—	—	—	—	—
その他	28	31	109.0	107.6	109.3	107.7

「一般病床のみ」、「一般・精神病床併設」の病院は、医業収支率、総収支率とも全体平均より悪い。

表 1 4 収支率、病床規模別

	回答数		医業収支率		総収支率	
	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年
総数	930	831	104.6	105.5	104.6	106.4
～ 49床	57	47	110.1	108.9	110.7	108.9
50～ 99床	236	207	108.7	106.4	109.1	106.6
100～199床	345	315	105.8	105.8	106.2	106.8
200～499床	253	226	104.4	106.1	104.2	106.6
500床～	39	36	101.0	103.0	100.6	105.2
(再掲)						
～199床	638	569	106.7	106.1	107.2	106.9
200床～	292	262	103.3	105.2	103.0	106.2

表15 収支率、DPC別

	回答数		医業収支率		総収支率	
	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年
総数	930	831	104.6	105.5	104.6	106.4
DPC対象病院	271	232	102.2	104.7	102.0	105.7
DPC準備病院	60	48	104.3	101.1	104.4	101.8
DPC非対象病院	599	551	109.2	107.6	109.4	108.4

DPC対象病院は昨年より医療収支率、総収支率とも悪くなっている。

表16 収支率、障害者施設等入院基本料・療養病棟入院基本料・特定入院料（回復期リハ等）、在宅療養支援病院、算定・届出別

	回答数		医業収支率		総収支率	
	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年
障害者施設等入院基本料 算定病院	91	75	107.5	102.8	107.5	103.7
療養病棟入院基本料1	295	—	107.9	—	107.9	—
療養病棟入院基本料2	150	—	104.3	—	104.7	—
回復期リハビリテーション 病棟入院料算定病院 (一般病棟)	111	—	101.8	—	100.4	—
回復期リハビリテーション 病棟入院料算定病院 (療養病床)	158	—	109.7	—	109.7	—
亜急性期入院医療管理料 算定病院	214	239	104.7	105.9	104.7	106.2
地域包括ケア病棟入院料 (一般病棟)	14	—	103.6	—	103.9	—
地域包括ケア病棟入院料 (療養病棟)	0	—	0	—	0	—
地域包括ケア入院医療管理 料	25	—	106.6	—	107.2	—
特殊疾患病棟入院料 算定病院	36	29	113.6	117.3	114.0	117.2
特殊疾患入院医療管理料 算定病院	16	11	102.2	104.3	103.9	104.7
在宅療養支援病院届出病院	191	133	105.6	103.1	106.5	103.7

表17 1病院当たり金額の%、病院種別、収支科目別

	総数	一般のみ	療養のみ	精神のみ	(再掲)DPC
医業収入合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
入院	70.1	66.3	83.8	82.7	68.1
外来	24.6	28.3	10.1	15.3	26.8
室料差額	1.5	1.7	1.4	0.2	1.7
その他	3.8	3.7	4.7	1.8	3.3
医業支出合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
給与費	55.6	52.2	65.2	62.8	52.7
医薬品費	10.9	12.6	4.2	6.7	12.5
給食材料費	0.9	0.6	2.2	3.2	0.6
診療材料費	8.4	10.6	2.8	0.8	10.4
経費	11.2	10.5	14.0	15.0	10.0
委託費	6.3	6.3	6.5	6.4	6.3
減価償却費	5.4	5.7	4.1	4.4	6.1
その他	1.4	1.6	1.0	0.6	1.4

一般病院に比べ療養病院や精神病院は入院収入の比率が高く、支出では給与費の比率が高い。逆に医薬品費は一般病床で比率が高い。

表18 1病院当たり金額の%、地域別、収支科目別

	総数		東京		指定都市		その他	
	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年
医業収入合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
入院	70.1	70.1	63.3	63.3	73.1	73.4	70.4	70.4
外来	24.6	24.5	27.7	26.6	22.4	22.5	24.7	24.8
室料差額	1.5	1.5	4.0	4.4	1.5	1.2	1.1	1.1
その他	3.8	3.8	5.0	5.7	3.0	2.8	3.8	3.7
医業支出合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
給与費	55.6	55.4	55.7	55.5	54.6	55.6	55.9	55.3
医薬品費	10.9	11.2	11.1	11.5	10.9	10.5	10.8	11.4
給食材料費	0.9	1.0	0.8	0.8	0.8	0.9	1.0	1.1
診療材料費	8.4	8.2	8.0	7.5	9.2	9.4	8.2	8.0
経費	11.2	11.3	11.9	11.0	10.5	11.3	11.3	11.3
委託費	6.3	6.2	6.7	6.9	6.6	6.1	6.1	6.0
減価償却費	5.4	5.3	5.1	6.1	5.2	4.9	5.5	5.3
その他	1.4	1.4	0.7	0.7	2.2	1.3	1.2	1.6

地域別、収支科目別では東京の入院収入が全国平均より低い。逆に室料差額が際立って高い

表19 1病院当たり金額の%、病床規模別、収支科目別

	総 数		～49		50～99		100～199	
	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年
医業収入合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
入院	70.1	70.1	56.0	56.5	60.6	64.2	71.1	70.7
外来	24.6	24.5	37.7	37.3	32.4	29.9	23.7	23.9
室料差額	1.5	1.5	1.6	1.1	1.4	1.4	1.4	1.4
その他	3.8	3.8	4.7	5.0	5.6	4.5	3.8	4.0
医業支出合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
給与費	55.6	55.4	54.5	54.4	57.4	58.2	58.9	57.8
医薬品費	10.9	11.2	9.8	9.6	9.0	8.8	9.0	9.5
給食材料費	0.9	1.0	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2	1.2
診療材料費	8.4	8.2	6.7	9.7	7.4	7.0	6.4	6.7
経費	11.2	11.3	16.6	14.6	12.9	12.8	12.8	12.9
委託費	6.3	6.2	6.0	5.5	6.2	5.7	6.0	5.7
減価償却費	5.4	5.3	4.0	4.1	4.3	4.7	4.5	4.7
その他	1.4	1.4	1.1	0.8	1.5	1.5	1.3	1.5
	200～499		500～		～199 (再掲)		200～(再掲)	
	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年
医業収入合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
入院	73.0	72.5	68.4	68.1	67.6	68.5	71.6	71.1
外来	22.5	23.0	25.2	25.3	26.6	26.0	23.4	23.7
室料差額	1.2	1.2	2.5	2.7	1.4	1.4	1.6	1.6
その他	3.3	3.4	3.9	3.9	4.3	4.2	3.5	3.5
医業支出合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
給与費	55.9	55.1	50.1	51.7	58.3	57.7	54.0	54.0
医薬品費	11.1	11.8	13.9	13.4	9.0	9.3	12.0	12.3
給食材料費	0.9	1.0	0.5	0.7	1.2	1.2	0.8	0.9
診療材料費	9.0	8.8	10.2	9.4	6.6	6.9	9.4	9.0
経費	10.4	10.4	9.4	9.9	13.0	13.0	10.1	10.3
委託費	6.2	6.3	6.8	6.6	6.1	5.7	6.4	6.4
減価償却費	5.3	5.2	7.3	6.7	4.4	4.6	6.0	5.7
その他	1.1	1.4	1.9	1.4	1.3	1.5	1.4	1.4

表 2 0 病院数，一般病棟入院基本料・年次別

一般病棟入院基本料		平成 26 年 5 月					
		総数	① 7 対 1	② 10 対 1	③ 13 対 1	④ 15 対 1	⑤ 特別入院基本料
平成 25 年 5 月	総 数	721	268	318	65	61	9
	① 7 対 1	258	250	7	1	-	-
	② 7 対 1 (経過措置)	15	8	7	-	-	-
	③ 10 対 1	312	10	297	4	-	1
	④ 13 対 1	68	-	7	58	3	-
	⑤ 15 対 1	59	-	-	2	57	1
	⑥ 特別入院基本料	9	-	-	-	1	8

表 2 1 医業収支平均比率，一般病棟入院基本料・年次別

一般病棟 入院基本料		平成26年5月				
		① 7 対 1	③ 10 対 1	④ 13 対 1	⑤ 15 対 1	⑥ 特別入院基本料
平成 25 年 5 月	① 7 対 1	102.2	99.8	92.5	-	-
	② 7 対 1 (経過措置)	101.1	109.2	-	-	-
	③ 10 対 1	96.8	106.4	108.7	-	106.0
	④ 13 対 1	-	103.7	108.2	106.7	-
	⑤ 15 対 1	-	-	114.3	107.4	-
	⑥ 特別入院 基本料	-	-	-	87.1	119.9

3. 平成26年調査と平成25年調査との比較

表22 平成26年調査と平成25年調査の比較

	平成26年	平成25年
調査客体数	2,423	2,437
有効回答数	930	831
有効回答率 (%)	38.4	34.1
1病院当たり許可病床数	187.3	191
1病院当たり1日入院患者数	152.8	158
病床利用率 (%)	80.6	82.6
1病院当たり月間外来患者数	5,290	5,542
医業収支率	104.6	105.5
医業収支率100%未満の病院の%	25	23
医業支出中の給与費の%	55.6	55.4
医業支出中の医薬品費の%	10.9	11.2
従業員1人当たり医業収入(千円)	907.9	914.3
従業員1人当たりの給与費(千円)	482.8	480.1
従業員1人当たりの付加価値(千円)	522.7	527.9
入院1人1日当たり金額 (円)	37,328	36,171
199床以下 (円)	32,863	31,809
200床以上 (円)	40,568	39,247
外来1人1日当たり金額 (円)	11,743	11,189
199床以下 (円)	10,452	9,487
200床以上 (円)	12,872	12,681
*付加価値率	0.576	0.577
*労働分配率	0.924	0.910

* 付加価値率 = (医業収入 - 医業費用 + 給与費) / 医業収入

労働分配率 = 給与費 / 付加価値 (医業収入 - 医業費用 + 給与費)

表 2 3 平成 2 6 年と平成 2 5 年の同一病院（5 9 8 病院）の比較

	平成 2 6 年	平成 2 5 年
病床数	1 1 3, 4 4 3	1 1 3, 5 8 4
一 般	7 0, 3 6 6	7 0, 6 1 7
療 養	3 0, 5 8 2	2 9, 7 6 9
精 神	1 2, 1 7 7	1 2, 8 8 5
結 核（含感染症）	3 1 8	3 1 3
1 病院当たり許可病床数	1 8 9	1 9 0
1 病院当たり 1 日入院患者数	1 5 3	1 5 7
病床利用率（%）	8 0. 6	8 2. 5
1 病院当たり月間外来患者数	5, 3 6 3	5, 6 9 5
1 9 9 床以下	3, 6 7 1	3, 9 7 4
2 0 0 床以上	9, 0 5 4	9, 4 7 8
1 病院当たり医業収入（百万円）	2 5 2. 4	2 5 5. 6
医業収支率（%）	1 0 4. 0	1 0 5. 4
医業収支率 1 0 0 % 未満の病院の%	2 4. 7	2 3. 1
従業員数	1 6 9, 8 0 1	1 6 6, 7 0 6
医業支出中の給与費の%	5 6. 4	5 5. 7
医業支出中の医薬品費の%	1 0. 3	1 0. 8
従業員 1 人当たり医業収入（千円）	8 8 8. 8	9 1 6. 8
従業員 1 人当たり給与費（千円）	4 8 2. 0	4 8 4. 4
従業員 1 人当たり付加価値（千円）	5 1 6. 1	5 3 1. 8
入院 1 人 1 日当たり金額（円）	3 7, 5 8 6	3 6, 9 5 6
1 9 9 床以下（円）	3 2, 7 6 4	3 2, 0 6 4
2 0 0 床以上（円）	4 1, 2 2 5	4 0, 6 0 2
外来 1 人 1 日当たり金額（円）	1 1, 4 0 7	1 0, 9 9 9
1 9 9 床以下（円）	1 0, 3 3 5	9, 4 2 8
2 0 0 床以上（円）	1 2, 3 5 5	1 2, 4 4 7
付加価値率	0. 5 8 1	0. 5 8 0
労働分配率	0. 9 3 4	0. 9 1 1

表 2 3 は平成 2 6、2 5 年の両年で回答してくれた同一病院（5 9 8）の比較である。

総病床数は若干減少し、入院患者数及び外来患者数は減少である。

医業収入は若干減少し、医業収支率は 1. 4 % 減っている。

入院 1 人 1 日当たり及び外来 1 人一日当たりの金額は若干増加している。

付加価値率は変わらないが、労働分配率は増えている。

表 2 4 1 病院当たり金額の%、収支科目別 (5 9 8 病院)

	平成 2 6 年	平成 2 5 年
医業収入合計	1 0 0 . 0	1 0 0 . 0
入院	7 0 . 6	7 0 . 2
外来	2 4 . 2	2 4 . 5
室料差額	1 . 6	1 . 6
その他	3 . 6	3 . 7
医業支出合計	1 0 0 . 0	1 0 0 . 0
給与費	5 6 . 4	5 5 . 7
医薬品費	1 0 . 3	1 0 . 8
給食材料費	0 . 9	1 . 0
診療材料費	8 . 1	8 . 2
経費	1 1 . 0	1 1 . 1
委託費	6 . 4	6 . 4
減価償却費	5 . 4	5 . 6
その他	1 . 4	1 . 2

4. 調査結果の年次推移

表25 調査結果の年次推移（平成5年～平成26年）

	平成5年	平成7年	平成8年	平成10年	平成11年
調査客対数	392	363	527	539	500
有効回答数	143	154	157	168	259
有効回答率（％）	36.5	42.4	29.8	31.2	51.8
1病院当たり許可病床数	160	153	172	162	172
1病院当たり1日入院患者数	137	129	154	138	147
病床利用率（％）	85.6	84.8	89.5	85.3	85.6
1病院当たり月間外来患者数	4,545	5,375	5,636	5,452	5,851
医業収支率（％）	101.4	105.4	105.9	104.9	104.6
医業収支率100%未満の病院の％					
総数	36	23	16	24	24
東京	77	50	31	36	29
指定都市	58	35	20	27	20
その他	28	17	13	22	24
医業支出中の給与費の％	48.8	49.9	50.2	52.5	52.2
給与費が50%を超える病院の％	46	53	59	69	68
従業員1人当たり医業収入（千円）	813.5	783.5	871.9	846.7	875.0
従業員1人当たり給与費（千円）	391.4	370.9	413.2	423.9	437.1
従業員1人当たり付加価値（千円）	403.3	410.7	461.6	463.2	475.5
付加価値率	0.495	0.524	0.529	0.547	0.543
労働分配率	0.970	0.903	0.895	0.915	0.919

表25つぎ

	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
調査客対数	500	500	500	500	500
有効回答数	262	275	238	275	251
有効回答率(%)	52.4	55.0	47.6	55.0	50.2
1病院当たり許可病床数	182	179	180	176	176
1病院当たり1日入院患者数	159	156	155	153	152
病床利用率(%)	87.3	86.9	86.1	86.9	86.4
1病院当たり月間外来患者数	7,065	6,513	6,755	6,287	5,723
医業収支率(%)	104.9	106.6	104.0	106.1	102.8
医業収支率100%未満の病院の%					
総数	23	20	30	19	24
東京	29	36	28	41	40
指定都市	14	23	32	26	22
その他	24	18	30	16	22
医業支出中の給与費の%	51.8	53.0	53.0	52.8	53.5
給与費が50%を超える病院の%	66	69	72	75	78
従業員1人当たり医業収入(千円)	927.9	932.8	920.4	919.0	887.2
従業員1人当たり給与費(千円)	458.5	464.0	469.1	457.9	463.5
従業員1人当たり付加価値(千円)	502.0	522.5	504.4	510.4	487.3
付加価値率	0.541	0.559	0.548	0.555	0.549
労働分配率	0.913	0.890	0.930	0.897	0.951

表25つぎ

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
調査客対数	500	500	500	500	500
有効回答数	265	226	288	288	298
有効回答率 (%)	53.0	45.2	57.6	57.6	59.6
1病院当たり許可病床数	181	179	172	173	175
1病院当たり1日入院患者数	158	152	147	146	146
病床利用率 (%)	87.3	85.6	85.4	84.2	83.9
1病院当たり月間外来患者数	5,606	5,600	5,412	5,094	4,995
医業収支率 (%)	104.4	103.7	104.2	102.3	104.3
医業収支率100%未満の病院の%					
総数	23	27	24	32	23
東京	47	61	42	54	33
指定都市	10	19	22	38	22
その他	23	24	22	28	22
医業支出中の給与費の%	54.1	53.9	53.7	54.3	55.3
給与費が50%を超える病院の%	77	79	78	80	83
従業員1人当たり医業収入 (千円)	896.3	876.2	880.6	875.4	853.2
従業員1人当たり給与費 (千円)	464.2	455.7	453.5	464.8	452.2
従業員1人当たり付加価値 (千円)	501.9	486.8	489.4	484.2	487.6
付加価値率	0.560	0.556	0.556	0.553	0.572
労働分配率	0.925	0.936	0.927	0.960	0.927

表 25 つぎ

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
調査客対数	600	600	600	2,437	2,423
有効回答数	335	360	332	831	930
有効回答率 (%)	55.8	60.0	55.3	34.1	38.4
1病院当たり許可病床数	175	181	181	191	187
1病院当たり1日入院患者数	148	152	149	158	153
病床利用率 (%)	84.9	84.2	82.2	82.6	81.6
1病院当たり月間外来患者数	5,001	5,112	5,183	5,542	5,290
医業収支率 (%)	106.7	105.5	106.1	105.5	104.6
医業収支率100%未満の病院の%					
総数	20	23	21	23	25
東京	35	28	24	31	40
指定都市	16	16	19	22	20
その他	19	21	21	22	25
医業支出中の給与費の%	55.9	56.4	56.2	55.4	55.6
給与費が50%を超える病院の%	83	87	87	86	86
従業員1人当たり医業収入 (千円)	888.0	867.9	889.0	914.3	907.9
従業員1人当たり給与費 (千円)	464.9	463.7	470.4	480.1	482.8
従業員1人当たり付加価値 (千円)	520.7	508.9	521.7	527.9	527.7
付加価値率	0.586	0.586	0.587	0.577	0.576
労働分配率	0.893	0.911	0.902	0.910	0.924

5. 平成26年度調査結果からみた病院の経営状況

表26 総収支状況別、病院数の%、病床数別

病床数	赤字病院 の%	黒字病院 の%	付加価値率 (%)	労働分配率 (%)
総数	23.9	76.1	57.6	92.4
～49	21.1	78.9	58.6	84.3
50～99	24.2	75.8	60.8	86.8
100～199	22.9	77.1	61.1	91.1
200～499	24.9	75.1	57.8	92.6
500～	28.2	71.8	50.5	98.1
(再掲)～199	23.2	76.8	60.9	89.7
(再掲)200～	25.3	74.7	55.5	94.2

表27 総収支状況別、病院数の%、地域別

	赤字病院 の%	黒字病院 の%	付加価値率 (%)	労働分配率 (%)
総数	23.9	76.1	57.6	92.4
東京	35.2	64.8	56.2	97.7
指定都市	21.3	78.7	57.3	89.7
その他	23.0	77.0	57.9	92.2

表28 総収支状況別、病院数の%、病院種別

	赤字病院 の%	黒字病院 の%	付加価値率 (%)	労働分配率 (%)
総数	23.9	76.1	57.6	92.4
一般病床のみ	32.5	67.5	53.6	94.5
療養病床のみ	10.7	89.3	69.1	83.6
精神病床のみ	8.3	91.7	66.7	84.5
一般・療養	23.7	76.3	62.0	91.1
一般・精神	20.0	80.0	54.3	98.1

表29 総収支状況別、病院数の%、経営主体別

	赤字病院 の%	黒字病院 の%	付加価値率 (%)	労働分配率 (%)
総数	23.9	76.1	57.6	92.4
個人	20.0	80.0	56.6	84.5
医療法人	19.8	80.2	59.9	89.8
その他	42.5	57.5	52.8	98.5

6. 平成26年度調査結果の総括

- ・平成26年度病院経営調査は、全日病全会員（2,423病院）を対象に、平成26年5月時点の一般状況および収支状況について調査した。回答数は930病院であり、回答率は38.4%であった。
- ・回答病院のうち、医療法人は748病院であり、80%以上であった。DPC対象病院は271病院（29.1%）、準備病院は60病院（6.5%）であった。病床種別では、一般病床のみが363病院、一般・療養病床併設が338病院と多かった。（表1～表5）
- ・地域別収支率は、いずれの地域でも平成25年に比し悪化している。特に東京では、40%が赤字である。また、推計キャッシュフローでも同様に悪化している。（表7～表12）
- ・病床種別収支率は、一般病床のみで悪化を認め、病床規模別収支率では、200床以上で悪化を認めた。また、DPC対象病院で悪化を認める。（表13～表15）
- ・平成25年5月時点で、7対1一般病棟入院基本料であった258病院は、平成26年5月は、7対1が250病院、10対1が7病院、13対1が1病院となった。また、7対1経過措置の15病院は、7対1が8病院、10対1が7病院となった。（表20）
- ・平成25年、26年同一回答病院（598病院）の比較では、病床利用率の減、外来患者数の減、従業員数の増、入院・外来一人一日当たり単価の増を認めた。（表23）

これらの結果を総括すると、平成26年度調査では、総じて収支が悪化している。特に悪化が認められるのは、「東京の病院」「一般病床のみの病院」「200床以上の病院」「DPC対象病院」である。この原因としては、診療報酬改定による急性期入院医療の厳格化が考えられるが、消費税増税による支出増も大きな要因であろう。

また、5月時点では7対1入院基本料の減は小幅であった。しかし、大きな動きは経過措置の終了する10月以降と考えられる。

急性期入院医療の経営悪化は、地域医療提供体制に大きな影響を及ぼす。地域医療構想の円滑な構築のためにも、診療報酬体系や消費税のあり方について十分に論議する必要がある。